

地域みらい留学とは？

地域みらい留学は、居住する都道府県の枠を越えて、生徒が全国各地の魅力ある公立高校に進学できる仕組みです。

高校進学を選択肢を広げ、子どもたちに様々な学びの環境を提供し、それと同時に過疎地域の少子高齢化、人口減少問題の解決を目的としています。
島根県の小さな離島、海士町から始まったこの取り組みは全国に広がり、2023年4月末時点で、**33道県100校以上**が留学先として登録されています。
北海道から沖縄まで、その土地に密接した多種多様な教育カリキュラムを備えて生徒を受け入れています。



先輩の声



千葉出身

▶北海道礼文高校

▶日本大学

掃部 暁里さん

自分自身が輝けることが大事。

私が礼文高校への入学を希望した理由としては地元から離れ自立したかったのと礼文島の雄大な自然、優しい島民の方々に惹かれたためです。

礼文島では、様々な体験をさせていただきました。例えば、寒さで泣いたこと、町の放送を担当させていただいたこと、町の祭りに参加したこと、

ここに書ききれないほど千葉ではできない胸が躍るような出来事がたくさんありました。

中学生のみなさん、私は自分自身が輝けることが高校生活で大事なことだと思っています。

みなさんの中には地元の高校に進学するだけでなく、地域みらい留学という選択肢もあるんだということを知っておいてください！

「地域みらい留学」にチャレンジしようとしている皆さんへ

生まれる場所は誰も選べない。でも、学ぶ場所は誰もが選んでよい。

自宅から通える範囲の中で、偏差値という尺度で高校を選ぶというのが、今までの「当たり前」でした。この「通学圏内」の「偏差値」という旧来の枠を越えて、「全国」から「自分軸」で学ぶ学校と地域を選べるようにしたのが『地域みらい留学』です。

慣れ親しんだ環境を出て、異文化や未知の世界に入ろうとするときには、たいてい不安や恐れなどが湧いてきます。身近な人から反対されたり心配されることもあるでしょう。

実際に『地域みらい留学』をしてみると、カルチャーショックや困難に度々ぶつかり、さびしい、くやしい、つらい、悲しいといった「心の成長痛」を何度も味わうことでしょう。

そして、そうした体験を通して、人としての強さと美しさ、優しさと柔らかさを身につけ、人間としての度量や器、視野や視界が大きく広がることでしょう。

様々な出会いや多様な経験によって、自分の「やりたいこと」が見つかるかもしれませんし、「やりたいと思っていたこと」が変わっていくかもしれません。違う世界や新たな選択肢が見えることで、今よりも迷うかもしれません。

今の環境を、今までの自分を変えたくなければ、『地域みらい留学』はやめた方がよいかもしれません。

選ぶのは自分。自分の進路は自分で決める。

今までの「当たり前」を、今までの「自分」を、越えていこう。

越えていこう



一般財団法人

地域・教育魅力化プラットフォーム

代表理事

岩本 悠